

## 滋賀県甲賀市・土山町の茶産地活性化プロジェクト

# 4年の歳月をかけて開発した「土山一晩ほうじ」の ブランディングを全面サポート

「ブランディングデザインで日本を元気にする」をコンセプトに活動する株式会社エイトブランディングデザイン(本社:東京都港区、代表:西澤明洋)は、一般社団法人滋賀県茶業会議所(本社:滋賀県甲賀市、会頭理事:岩永峯一)の茶産地活性化プロジェクト「土山一晩ほうじ(つちやまひとばんほうじ)」のブランディングデザインを担当致しました。製品となるお茶の開発と規格策定からコンセプト開発、ネーミング、ロゴ、フラッグシップ商品のパッケージ、WEBデザイン、ブランドムービーなどブランディングをトータルにサポートしています。9月1日にプロジェクトを発表・販売開始とともに、WEBサイトをオープンしました。



## ■リブランディングの背景

「滋賀県甲賀市・土山町の茶畑を未来へ残したい。」4年をかけた産地ぐるみのプロジェクト

日本茶発祥の地と言われる滋賀県の中で、甲賀市の茶産地「土山(つちやま)町」は7割以上の生産量を誇り高品質のお茶を生産してきました。その一方で茶産地としての知名度が低く、日本茶消費量の減少も伴って、以前は約300戸あった茶農家の数が約100戸に減少。産地低迷の危機感から土山エリアの茶農家や茶匠、甲賀市役所、JAこうか、滋賀県からメンバーが集まり、2018年に土山町の産地ブランドプロジェクトが立ち上がりました。

弊社代表の西澤は、滋賀県出身で故郷のこのプロジェクトに賛同。プロジェクトの立ち上げからブランディングに伴走し、産地メンバーのみなさんと一丸となり“土山ならではの”お茶の開発に注力してきました。約4年をかけて、茶葉を寝かせて微発酵させる菱凋(いちょう)という技法を使用した、華やかな菱凋香と香ばしい焙煎香が合わさったほうじ茶「土山一晩ほうじ」が誕生。2022年9月、土山町はプロジェクトの発表を機に、【一晩ほうじの郷 土山】をコンセプトに掲げた新たな産地ブランドとしてスタートを切りました。

## ■ブランディングデザインのポイント

### (1)産地ブランドとして強い差異化要因をつくる製品開発と規格策定

「土山一晚ほうじ」のネーミングは、甲賀市の[土山地区]で採れた茶葉を一晚寝かせてつくるほうじ茶」という意味に由来。摘み取った茶葉を風通しのよい場所などに保管し、攪拌しながら葉を萎れさせて微発酵を促す「萎凋」の工程を行った茶葉は、花香(はなか)と呼ばれる独特の香りをまといます。加えて焙煎によって香りを深めることで、「華やかな香り」×「香ばしい焙煎香」のかけあわせが生む、ほのかに甘く華やかな新感覚の香りのほうじ茶「土山一晚ほうじ」が誕生しました。

産地ブランドとして定めた3つの規格を満たした上で、製造元が各自選定した茶葉を使用し萎凋・焙煎を行います。作り手ごとの個性で香りや味の違いを楽しむことができるのも「土山一晚ほうじ」の魅力の一つです。

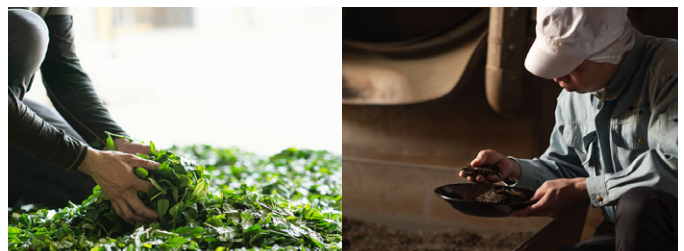
### 土山一晚ほうじ3つの規格

土山町茶業協会が  
栽培・製造\*した  
茶葉を使用

\*製造=荒茶加工

12時間以上萎凋さ  
せた香り高い  
茶葉を使用

滋賀県茶業協同  
組合員または土山の  
生産者が焙煎した  
ほうじ茶



### (2)一丸となった茶産地を表したブランドコンセプトとステイトメント

土山町の茶産業に関わる茶農家や茶匠などから様々なメンバーが集まり「土山茶」の特徴や強みを深く掘り下げ、試作を重ねて産地ブランドを開発。約4年をかけて、萎凋ほうじ茶に特化した「土山一晚ほうじ」が完成しました。

ブランドコンセプトには、土山町が今後も産地一体となって良質なお茶づくりに取り組み、コンセプトである【一晚ほうじの郷 土山】の名にふさわしい産地であり続けるという宣言が込められています。

### 一晚ほうじの郷 土山

滋賀県近江にある小さな茶産地、土山。旧くから良質な茶を作りつづけてきたこの地には、茶農家一軒一軒の個性が活きたお茶があります。

その茶葉を、一晚寝かせて香りを引き出し、丁寧に焙煎したのが「土山一晚ほうじ」です。

華やかさと香ばしさが相まった、心もほぐすその香りには、土山茶師たちの手間と想いが込められています。

ここは土山、一晚ほうじの郷。  
小さな産地が踏み出す新しい一歩を、  
香りと共にお届けします。

## ■デザインについて

### (1)ロゴデザイン

日本古来からある日月紋をモチーフに、茶葉を照らす「太陽」と、茶畑を寝かせる間、空に輝く「三日月」、そして萎凋中の茶葉の様子を掛け合わせたマークとなっています。また、産地ブランドとして様々なパッケージに掲出される事を想定し、どこに入れても目立ち、かつ配置しやすいロゴデザインを意識しています。ブランドカラーの赤色は、茶葉を焙じる炎の色を表しており、土山町が「ほうじ茶」の産地ブランドである事を示しています。



## (2) パッケージデザイン

ブランドのフラッグシップ商品である「JAこうか」のパッケージデザインでは、スタンドパウチ型・箱型のいずれもブランドカラーの赤一色で統一。茶産地・土山町の歴史と伝統、そして今回の活性化プロジェクトを表した品格あるデザインとしています。

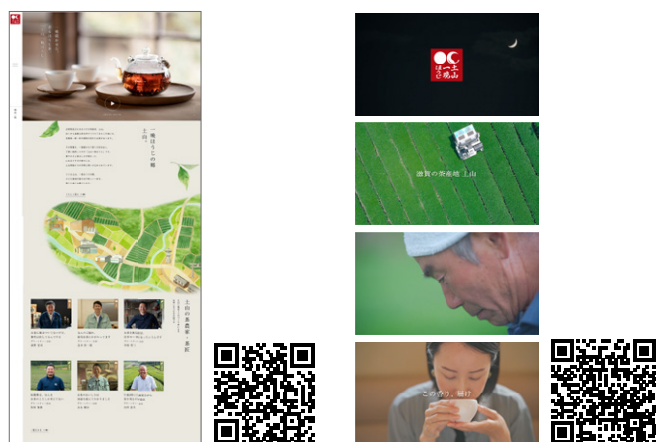
左)JAこうか「土山一晩ほうじ」スタンドパウチ:リーフ70g/箱型:ティーバック10個入、右)土山の茶農家、茶匠による「土山一晩ほうじ」6商品



## (3) ブランドサイト・ブランドムービー

【ブランドサイト】「土山一晩ほうじ」の魅力を発信するだけでなく、土山の茶農家、茶匠など「人」を詳細に取り上げて産地が一体となって取り組んでいることを伝える読み応えのあるWEBサイトとなっています。緑豊かな茶畑や土山の人々の写真とイラストレーションで素朴な温かみと品質感のあるデザインを目指しました。

【ブランドムービー】土山町の作り手たちが、連携して茶作りを行う様子を表現。後半は、土山に住む老若男女が仕上がったお茶を楽しむ様子を映し出し、作り手だけでなく土山のみなさん全員で「土山一晩ほうじ」を盛り上げ、産地の未来を繋げていこうという想いを込めました。



ブランドサイト  
<https://www.hitobanhouji.com/>

ブランドムービー  
[https://youtu.be/7EqF\\_Izk6WQ](https://youtu.be/7EqF_Izk6WQ)

## 【滋賀県茶業会議所について】

一般社団法人 滋賀県茶業会議所は、近江の茶ブランドの一層の向上を目指すことを目的に1995年4月27日に組織されました。各種の調査・研究活動や荒茶の品評会等を開催するとともに、組織的な経営の育成や流通体制の改善を推進するための検査・研究ならびに広報活動を推進し、近江の茶生産の安定的発展に寄与していきます。 <http://shigacha.chu.jp/>

## 【エイトブランディングデザインについて】

### 8 EIGHT BRANDING DESIGN

エイトブランディングデザインは「ブランディングデザインで日本を元気にする」をコンセプトに、ブランディングデザイン活動のパイオニアとして、企業のブランド開発、商品開発、店舗開発など幅広いジャンルでのデザイン活動を行っています。 <https://www.8brandingdesign.com/>



### ブランディングデザイナー 西澤 明洋

1976年滋賀県生まれ。株式会社エイトブランディングデザイン代表。独自のデザイン開発手法「フォーカスRPCD®」により、リサーチからブランニング、コンセプト開発まで含めた、一貫性のあるブランディングデザインを数多く手がける。主な仕事にクラフトビール「COEDO」、抹茶カフェ「nana's green tea」、スキンケア「ユースキン」など。著書に『ブランディングデザインの教科書』(パイ インターナショナル)ほか。デザイン誌での特集に『デザインノート/西澤明洋の成功するブランディングデザイン』(誠文堂新光社)がある。

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社エイトブランディングデザイン 担当: 阪上、佐々木  
〒107-0062 東京都港区南青山4-10-3 エイトビル  
Tel: 03-6447-2878 E-Mail: [pr@8brandingdesign.com](mailto:pr@8brandingdesign.com)

### 【会議所・商品に関するお問い合わせ先】

一般社団法人滋賀県茶業会議所  
〒528-0005. 滋賀県甲賀市水口町水口6750  
Tel: 0748-63-6960 E-Mail: [shigacha@ac-koka.jp](mailto:shigacha@ac-koka.jp)